

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農山村振興費

事業名【新】東アジア農業遺産学会実施事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部里川振興課里川振興係 電話番号：058-272-1111(内4214)

E-mail：c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 23,358 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	23,358	0	0	0	0	0	0	0	23,358
決定額	23,358	0	0	0	0	0	0	0	23,358

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・清流長良川の鮎を通じて、人の生活、水環境、漁業資源が密接にかかわる岐阜県ならではの里川全体のシステム「長良川システム」が平成27年12月に「清流長良川の鮎」として世界農業遺産に認定された。
- ・この世界に誇る「長良川システム」を次世代に渡って継承していくため、海外の認定地域との連携や海外の取組状況等の共有が必要である。
- ・令和6年度は、日中韓の認定地域等で組織される「東アジア農業遺産学会（ERAHS）」を日本（岐阜県）で開催することが求められおり、学会を契機としたさらなる「長良川システム」の保全・活用・継承を進める必要がある。

(2) 事業内容

- 東アジア農業遺産学会（ERAHS）の開催（23,358千円）
- ・日本、中国、韓国の世界農業遺産認定地域が参加する国際学会を開催し、基調講演、シンポジウム、パネルセッション等を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

世界農業遺産「清流長良川の鮎」の認定自治体として、県が主体となって取り組むべき事業であり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

- 有 世界農業遺産国際支援推進費
- ・東アジア農業遺産学会実施事業費は、学会本体（基調講演、シンポジウム、パネルセッション、現地視察等）に係る費用を計上。
- ・世界農業遺産国際支援推進費は、学会本体以外（作業会合、世界農業遺産認定商品のPR等）に係る費用を計上。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	42	プロポーザル評価員謝金
旅費	116	業務旅費、費用弁償
役務費	30	通信運搬費
委託料	23,170	東アジア農業遺産学会
合計	23,358	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
3 地域にあふれる魅力と活力づくり (1) 地域の魅力・清流文化の創造・伝承・発信
③美しく豊かな環境の保全・継承
- ぎふ農業・農村基本計画 (R3～R7)
4 地域資源を活かした農村づくり
③世界農業遺産「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承と持続的発展

(2) 国・他県の状況

国内では、これまでに15地域が世界農業遺産の認定を受けており、農林水産省及び各地域が連携して、その保全・活用・継承に向けて取り組んでいる。

東アジア農業遺産学会は、日本、中国、韓国の持ち回りで毎年開催しており (R2～R4は新型コロナウイルスの影響により中止)、日本ではこれまで、平成27年に新潟県、平成30年に和歌山県で開催されている。

(3) 後年度の財政負担

令和6年度のみ単年度事業であり、後年度の財政負担はない。

(4) 事業主体及びその妥当性

世界農業遺産「清流長良川の鮎」の認定自治体として、県が主体となって取り組むべき事業であり、県負担は妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 日本、中国、韓国を持ち回りで開催している東アジア農業遺産学会を令和6年度は日本（岐阜県）で開催し、認定地域の取組状況等を共有することで、国内外の認定地域が一体となって、世界農業遺産の持続的発展に取り組む。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
①東アジア農業遺産学会の開催	0	/	/	1	1	/

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 継続的かつ密に国内外との認定地域との情報共有を図っていくために、オンラインの活用を積極的に進めていく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 世界農業遺産が持続的に発展していくためには、継続的に国内外の認定地域と連携し、情報共有していく必要がある。次年度以降も引き続き、東アジア農業遺産学会等の場を通じて、情報共有を図っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】